

令和3年度 学校関係者評価書 完成版

鈴鹿市立石薬師小学校

NO. 1

評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)と指標	学校関係者評価	今後の改善点
確かな学力を育む教育活動	<p>1 授業改善・学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 協働的な授業展開 ・ICTの活用したわかりやすい授業 →アンケート, 学調, みえスタで検証 <p>2 家庭学習の定着・学習ボランティアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習, 自主学習の定着 →アンケートで検証 学習ボランティアの活用→学習ボランティア数と内容 <p>3 読書活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級文庫の充実 ・巡回指導員の活用 →図書貸出し冊数 →アンケートで検証 <p>(成果と課題) →別紙参照</p> <p>1 各学年部で授業研究, 研修を行い, 授業改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教員がICT機器を活用し, 授業研究を行い授業改善に取り組んだ。 学調の問題を解き結果を分析し, 学力向上の研修を行った。 <p>2 家庭学習の手引きを配付し, 家庭との協力を図った。</p> <p>3 図書巡回指導員を活用し読書環境を整えたが, 工夫の必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度もきちんとしていて評価できる。 ICT活用は充実してきた。オンライン授業がよい。1年生もきちんとしてきている。ICT活用は教師, 児童共に大幅な向上があった。プロジェクトの照度が低い学級がある。パソコンが苦手にならないような指導が必要。外部の人を呼んでプログラミング教室もしてほしい。 自主学習となると, 先生方の指導を丁寧にしてもらわないと定着していかないとと思う。 休み時間はパソコン使用禁止は良い。 地域のボランティアの協力により, 地域をあげて教育に取り組んでいると感じた。 保護者アンケート実施の反映もされている。 読み聞かせは良い。低学年の読み聞かせを増やしたらどうか。書籍にもっと興味を持ってもらうようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用について, 環境を含めて指導について更に研修を深めていく。 今年度もICT支援員によるプログラミングの授業は行っていたが, 来年度も更にプログラミング教育を進める。 自主学習指導を丁寧にいき, 家庭学習の充実を図る。 書籍にもっと興味を持てるように, 今年度中にPTAからの学校支援金で各学年で古本屋で児童が興味を持てるような本を安く購入し, 来年度に引き継ぐ。
人権教育・特別支援教育	<p>1 人権教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童理解のレポート研修, 全体研修会 全校児童の人権意識の向上 →アンケートで検証 <p>2 多様性を認め合う教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の研修, 特別支援学級・通級指導教室公開 多文化共生教育 →多文化共生の授業 <p>(成果と課題) →別紙参照</p> <p>1 レポート研修で児童と周りの子の関係性の情報共有をし, 共通認識をもつことができた。</p> <p>2 特別支援教育は特別支援の児童理解授業を行ったり, 事例検討会で研修を深めたりした。多文化共生教育は学年に応じて指導した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 子ども同士で注意し合えるところが見受けられて大変よい。 子ども達との関係性はまだ課題が多いと感じる。相手への思いやりや言葉遣い等家庭で意識付けができるようPTAと協議しては。 些細な事でも本人にとってはいじめられたと思うからアンケートを書く。すぐに対応してもらえることは保護者の安心につながる。 様々な子がいることの理解と接し方を指導してほしい。途中から特支入級の児童への理解は。 多文化共生の取組は言葉や価値観の理解の取組は評価できる。外国の子達と話ができる機会があるとよい。言葉や文化の違いなどを感じることも必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 石薬師小学校ならではの人権短歌作りを来年も続ける。様々な学習, 機会をとらえて人権学習を行い, 子どもたちが安心して過ごせる学校にしていく。 特別支援学級の児童だけでなく, 「みんなちがってみんないい」という理解促進を行いたい。
地域連携	<p>1 「信綱カリキュラム」の活用</p> <p>→「信綱カリキュラム(短歌づくり)」を全学年で行う。</p> <p>2 地域学習・キャリア教育</p> <p>→地域人材の活用</p> <p>(成果と課題)</p> <p>1 「信綱カリキュラム」に沿って学習を展開できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学年が年3回短歌を作ることができた。 毎週火曜日→朗唱 ・短歌集会が実施できた。 <p>2 ボランティアを活用し「石明協」と連携して地域学習・キャリア教育ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校区探検, 信綱さん理解に「石明協」歴史文化部と連携できた。 田植えを体験した。(稲刈りはできなかった) 	<ul style="list-style-type: none"> 短歌作りは特色ある取組でよい。信綱かるた, 短歌に親しむことが地域を大切にすることにつながる。短歌で言葉の選び方など, 学力とはまた違う観点から日本語の楽しさを学べるいい機会なのでこれからも大切にしてほしい。 選ばれた短歌を学校だよりに掲載してもらうことで地域の人にも活動がわかってもらってよい。 石薬師地区の特性を理解し地域を大切にすることにつなげていくのはよい。ボランティアや石明協との連携により, 地域のことを学べてよかった。校区探検は東海道宿場町としての歴史ある郷土愛を育み地域づくりの担い手の育成に繋がる。さらに地域との連携を深めるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 石薬師小学校の特色ある取組(信綱カリキュラム)は引き続き取り組んでいく。 コロナ禍でボランティア自粛を余儀なくされた活動もあったが, 来年も引き続き地域と連携していく。 ボランティアの募集の仕方の工夫が必要ではというご意見もいただいた。検討する。
生活指導	<p>1 基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あすなる☆」を年間を通しての指導(あいさつ, スリッパ, なかよく, 廊下歩行, チャイムを守る) ・あいさつに運動の活性化→アンケート <p>2 いじめの未然防止</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感の推移 →アンケートで検証 →いじめアンケート <p>(成果と課題) →別紙アンケート参照</p> <p>1 各学級での生活指導と共に, 児童会が積極的にあいさつ運動の声掛けをして「あすなる☆」の定着をめざした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする児童が増えたりやチャイム着席が定着したりした。 <p>2 いじめの未然防止のために1年に3回の自己肯定感アンケートを実施し推移をみると共に自己肯定感の低い子へは意識的に対応した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> あいさつはとても大事, あいさつ運動によりあいさつができてきた。いつ学校へ行っても子どもたちからあいさつがされ, 年々向上している。 落ち着きがもう少しほしい。 子どもの気持ちを聞いてもらえる時間をもう少しとってほしい。 コロナによる変化点は少ないので, 対応, 対策を講じるべきではないか。 いじめの認知件数が多いということは問題意識を持っていることで, 今後も相談を受けたら早期解決をお願いしたい。いじめが減った結果を聞き, 安心した。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつを含めた基本的な生活習慣の定着は子どもたちの自主的な取組になるよう児童会の積極的な活動にしたい。 子ども対応については丁寧に対応していきたい。
健康・安全・体力向上	<p>1 体力向上・体を動かす取組 →体力テスト,</p> <p>2 交通安全教育・防災防犯教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室, 避難訓練, 引き渡し訓練, 防犯教室, モバイル教室 →事故件数で検証 <p>3 食育・アレルギー対応 →食育授業回数 →アレルギー研修</p> <p>(成果と課題) →別紙参照</p> <p>1 体力テストで各学年の弱みの分析をし弱みの克服を目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会は感染対策をして実施できた。 <p>2 交通安全教室, 避難訓練, モバイル(スマホ)教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室は自転車を使って体験をしたので, 意欲的に内容を理解できた。事故件数1件(自転車) 外部講師とリモートでスマホ教室を実施する予定。(1/27) <p>3 年間計画通りに栄養教諭と連携した食育指導ができた。食に関する興味関心をもつことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中, 体力も落ちている。感染対策をしながら楽しんで体を動かせる工夫が必要。 体力面で各学年での課題を意識して授業をしていくとよい。 交通安全はかなり意識できている。交通安全教室は続けてほしい。1年生も自転車に乗っているため自転車教室をするべきではないか。 モバイル教室は低学年もあってのよいのでは。親向けのスマホ教室があってもよいのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 来年度も全校で体力テストを行い, 経年変化と学年での強み弱みを把握して授業等で取り組んでいく。 来年度の交通安全教室は1~3年生は講話, 4~6年生は自転車実施体験で申し込み済み。再来年度に向けて検討する。 モバイル教室は, 保護者拡大については検討する。
教職員の働き方	<p>1 会議の時間短縮 →60分以内に終了する会議の割合</p> <p>2 時間外労働時間の短縮 定時退校日の設定 →時間外労働時間</p> <p>3 休暇取得日数 →一人あたりの休暇取得日数平均</p> <p>(成果と課題) 達成状況を含む</p> <p>1 会議は60分以内という意識が身についた。7割</p> <ul style="list-style-type: none"> 2部会→企画委員会→職員会議の流れで, またクロムブックを使つての提案等で効率よく会議が進められている。 <p>2 定時退校日は月2回で100%定時退勤できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間外労働時間は各自コントロールしている。平均20.72時間 <p>3 本年度は夏休み後半に各自コロナ対応, オンライン授業準備で予定していた休暇取得ができなかった。</p> <p>年休平均合計10.6時間 特休平均7.1時間(ワクチン接種含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 会議が60分以内が7割では意識が身に付いたとは言えない。来期は目標を9割で取り組んでほしい。 時間外をなくすことは大変かと思いますが, 1月20時間は多い。 有給, 残業は目標値を設定して取り組んでほしい。 先生方も精神・肉体共に休息が必要なので年休を全日取れるようにしていきたい。 先生たちも働きやすい職場になってほしい。PTAの仕事が減らしたり, 校長・教頭先生が参加しない役員だけの会議があってもよいのでは。後日報告やオンラインを活用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議60分以内に向けて, 更に効率化を図りたい。 年休取得は長期休みを利用して積極的に取得するよう更に声かけをする。 残業については, 特別な対応がない限りは一日の残業時間の限度を考えるようにする。